

さすが最上級生、真剣な眼差しで授業を受けていました！

5月13日(水)3校時、数学科の上原晶子先生の授業を参観させていただきました(3年3組)。

本時のねらいは、小学校4年生で学習する3桁のかけ算を、現在学習している乗法公式を活用し、工夫して計算することが目的です。例： $102 \times 98 = (100+2)(100-2) = 100^2 - 2^2 = 10000 - 4 = 9996$

晶子先生ステキだな～と感じたのが、生徒にとって初めて出会う未知なる問いにも関わらず、まずは**生徒に考えさせて、そこから出てきた多様な考えを認め、生徒に説明させ、その考えを比較する場面を設けていた所**です。

学んだ知識を「長持ち」させるために、人は試行錯誤し、「Try & Error」を経験することが必要かもしれません。匙加減が難しいところですが、時にはルールを敷き、時には自由に運転させるなど、授業の主体を生徒に与え、**協働的な学びの実現**に向けて、全職員で学んでいきたいです。晶子先生、ありがとうございました。



授業は常に真剣！受験生の意識が芽生えています！

生徒インタビュー

『本時の授業で何を学ぶことができましたか？』

(Tさん)

いろいろな乗法公式に当てはめて計算すると、筆算よりも楽に計算できた。

(Mさん)

難しかったけど、週末にクリアノートで練習したい！

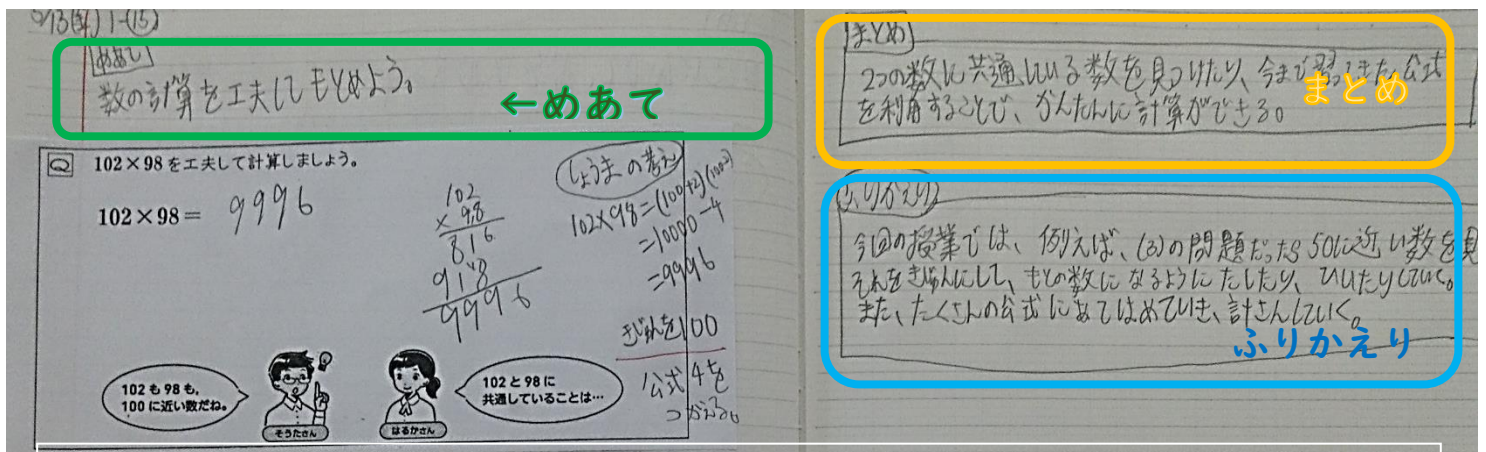


図1 生徒のノート（めあて—まとめ—ふりかえりの確実な実施）

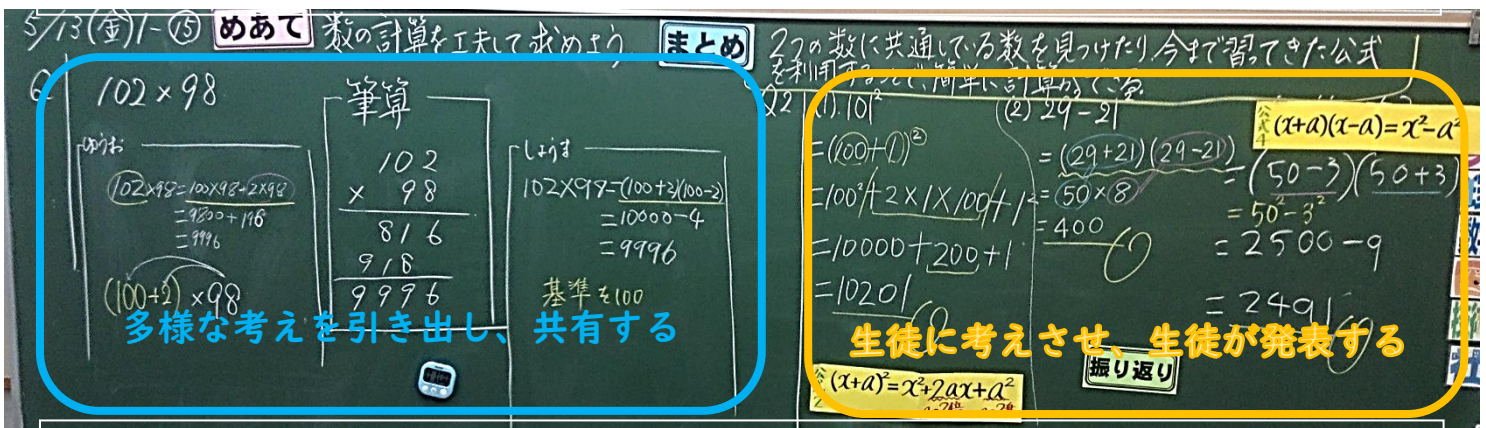


図2 本時の板書（1時間完結型のコンパクトな授業）